

令和8年度 高校1年(特進) シラバス

□科目	英語コミュニケーション I			
□授業時数	4時間/週			
□教材	Big Dipper English Communication I (数研出版), Big Dipper English Communication I ベーシックノート(数研出版) Front Runner 1(数研出版), Clues to Reading Standard(数研出版), ターゲット1900(旺文社), スタディサプリEnglish(リクルート) スタディサプリ (該当項目参照)			
□学習到達目標	<p>◎4技能 (Listening, Speaking, Reading, Writing) の習得を図る。</p> <p><Speaking></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の複雑な問いに英語で答え, アウトプットを試みることができる。※主語・動詞のある文で答える。 ・外国人と積極的にコミュニケーションを図れる態度, 語彙力を身につけることができる。 <p><Listening></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣や興味関心事に関して, 英語で受け答えができる。 ・外国人と積極的にコミュニケーションを図れる態度, 語彙力を身につけ, 自己表現をすることができる。 <p><Writing></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣や興味関心事について, 英語で表現ができる。 ・自己表現を可能にする適切な語彙を選び, 外国人に適切な文章を書けることができる。 ※100-200語程度の英文で自分の意見を述べる(英語検定2級レベル)。 <p><Reading></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の長文から, 情報を取得することができる。 ・その取得した情報から, 的確に英語でアウトプットができる。 ※400語程度の長文を読むことができる(英語検定2級レベル) 			
□成績評価基準	定期テスト・小テスト・提出物, および授業中の積極性を総合的に判断し評価する。			
□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	4	<p><i>Big Dipper</i> Lesson 1 Wagashi: A Sweet Tradition</p> <p><i>Clues to Reading</i> ①名詞(句)を説明するカタマリを見ぬく ②基本構造を見ぬく</p>	<p>○和菓子の歴史と今</p> <p>1学期は精読中心の授業を実施することでまずは「正しく英文を読む力」の養成を目指していく。単語と文法の力も同時に養っていくが, その力をどのように使うのかということに焦点を当てていく。</p> <p>※評価は日々の宿題, 授業態度, 単語テスト等で決定する。 ※年間を通じてタンゴスタにて単語テストを実施</p>	<p>錬成テスト①</p> <p>基礎学力到達度テスト</p>
	5	<p><i>Big Dipper</i> Lesson 2 Smartphones and Smart Users</p> <p><i>Clues to Reading</i> ③挿入を見ぬく ④同格の関係を見ぬく ⑤並列関係を見ぬく ⑥itの用法を見ぬく(1)</p>	<p>○電話の歴史とデジタルデトックス</p> <p>教科書を中心に音読を授業内や宿題として課していく。ただ, 字面を発音していくのではなく意味内容を把握しながら読むことをまずは意識させていきたい。音読することで英語の語順により慣れていき, 日本語を介さずに内容を把握する能力を養いたい。</p> <p>※評価は日々の宿題, 授業態度, 単語テスト等で決定する。</p>	<p>定期テスト①</p> <p>実力テスト①</p>
	6	<p><i>Big Dipper</i> Lesson 3 Two kinds of Leadership Lesson 4 Older Sports and Newer Sports</p> <p><i>Clues to Reading</i> ⑦itの用法を見ぬく(2) ⑧関係代名詞の用法を見ぬく(1) ⑨関係代名詞の用法を見ぬく(2)</p>	<p>○サルとゴリラから見える2つのタイプのリーダーシップ ○新旧いろいろなスポーツの歴史と魅力</p> <p>Clues to Readingを使うことで文の構造を把握し, 動詞が複数存在する複雑な英文を正しく読み取れるようにしていきたい。品詞や文型を疎かにすると必ずどこかのタイミングで誤読が起きるため基本事項はしっかり押させていく。</p> <p>※評価は日々の宿題, 授業態度, 単語テスト等で決定する。</p>	
	7		1学期の総復習	定期テスト②
	9	<p><i>Big Dipper</i> Lesson 5 AI Meets the Arts</p> <p><i>Clues to Reading</i> ⑩分詞構文を見ぬく ⑪比較を見ぬく ⑫省略を見ぬく</p>	<p>○芸術の世界にまで進出するA I</p> <p>2学期は, 1学期で培った「正しく読む力」に速さをの習得を目指したい。つまり, 「速く正しく読む力」を目指していく。具体的な目標としては音読で100WPM, 黙読においては120~130WPMとしていきたい。ただし, 継続的に文構造の把握力も向上させていきたい。</p> <p>※評価は日々の宿題, 授業態度, 単語テスト等で決定する。</p>	錬成テスト②

令和8年度 高校1年（特進） シラバス

□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	10	<i>Big Dipper</i> Lesson 6 Dynamic Pricing: a New Pricing System Lesson 7 The Maldives: A Dream Destination? <i>Clues to Reading</i> ⑬倒置を見ぬく ⑭名詞構文を見ぬく Front Runner Lesson 1, 2, 3, 4	○新しい価格の付け方：ダイナミックプライシング ○人気の観光地が抱える問題 2学期後期からは「速く」と「正しく」の能力をより厳しく求めていきたい。ただ速く読めるだけでは意味がないので、しっかり意味と構造も読み取れているかを確認していきながら授業を進めていく。 この段階ではClues to Readingが終盤に差し掛かっているため、文の構造把握能力の基本は習得できているようにしたい。 ※評価は日々の宿題、授業態度、単語テスト等で決定する。	定期テスト③ 実力テスト②
	11	<i>Big Dipper</i> Lesson 8 Kazu Hiro: In Pursuit of a Dream <i>Clues to Reading</i> ⑮仮定法を見ぬく Front Runner Lesson 5, 6, 7, 8	○世界的な特殊メイクアップアーティストKazu Hiro Front Runnerは長文問題のテキストになっているが、ここからは「速く」「正しく」読むだけでなく、その力を使って、正解を導き出すというところに少しずつ焦点を当てていきたい。テストで点数を取るためにはどうすべきかというところを教えたい。 ※評価は日々の宿題、授業態度、単語テスト等で決定する。	
	12		2学期の総復習	定期テスト④
	1	<i>Big Dipper</i> Lesson 9 From Recycle to Upcycle Front Runner Lesson 9, 10, 11, 12	○ごみの再利用の新しい形「アップサイクル」 3学期は速く正しく読む力に加えて、「正解の根拠を明示できる力」を養成していきたい。長文を読むうえでは必要になってくる論理力に焦点を当てていきたい。そのために問題演習を1、2学期よりも多く行っていく。 ※評価は日々の宿題、授業態度、単語テスト等で決定する。	錬成テスト③
	2	<i>Big Dipper</i> Lesson 10 Discovery at Japanese Companies Front Runner Lesson 13, 14, 15	○日本の会社における雇用の多様性 年間を通して培ってきた力を問題で発揮できるように総合的な演習を行っていく。次年度に向けて必要な単語力、文法力、構文把握能力、速読力がしっかり養われているかどうかを判断できるような問題を問うていく。	日大チャレンジ模試 定期テスト⑤
	3		3学期の総復習	

令和8年度 高校1年(特進) シラバス

□科目	論理・表現 I			
□授業時数	2時間/週			
□教材	EARTHRISE English Logic and Expression I (数研出版), EARTHRISE English Grammar in 33 Stages (数研出版), Workbook for EARTHRISE English Grammar in 33 Stages (数研出版), EARTHRISE 総合英語 (数研出版)			
□学習到達目標	<p>◎4技能 (Listening, Speaking, Reading, Writing) の習得を図る。</p> <p><Speaking></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の複雑な問いに英語で答え, アウトプットを試みることができる。※主語・動詞のある文で答える。 ・外国人と積極的にコミュニケーションを図れる態度, 語彙力を身につけることができる。 <p><Listening></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣や興味関心事に関して, 英語で受け答えができる。 ・外国人と積極的にコミュニケーションを図れる態度, 語彙力を身につけ, 自己表現をすることができる。 <p><Writing></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣や興味関心事について, 英語で表現ができる。 ・自己表現を可能にする適切な語彙を選び, 外国人に適切な文章を書けることができる。 ※100-200語程度の英文で自分の意見を述べる(英語検定2級レベル)。 <p><Reading></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の長文から, 情報を取得することができる。 ・その取得した情報から, 的確に英語でアウトプットができる。 ※400語程度の長文を読むことができる(英語検定2級レベル) 			
□成績評価基準	定期テスト・小テスト・提出物, および授業中の積極性を総合的に判断し評価する。			
□授業計画	月	単元・項目	内 容	備 考
	4	EARTHRISE English Grammar in 33 1. 文の組み立て方(1) 2. 文の組み立て方(2) 3. 動詞と時の表し方①-(1) 4. 動詞と時の表し方①-(2) 5. 動詞と時の表し方②-(1) リスニング問題に取り組む	年間を通して, 取り組む文法項目の順番を変えている。理由は, 英語コミュニケーションIで取り組んでいる文法項目と少しでも同時期になるように取り組みたいためである。加えて, 英文を読むに当たり比較的遭遇する頻度の高いものから順番に取り組むためである。 4月は英文の基本構造である品詞と文型, さらに時制について整理しながら取り組んでいく。	練成テスト① 基礎学力到達度テスト
	5	EARTHRISE English Grammar in 33 6. 動詞と時の表し方②-(2) 21.関係詞(1) 22.関係詞(2) 23.関係詞(3) 24.関係詞(4) リスニング問題に取り組む	5月は関係詞に取り組んでいく。関係詞は修飾語句として英文に出てくる頻度が高い。また, 関係詞においては「関係代名詞」と「関係副詞」の区別や「非制限用法(継続用法)」や「複合関係詞」など時間をかけて取り組まなければならない要素が多い。	定期テスト① 実力テスト①
	6	EARTHRISE English Grammar in 33 12. 不定詞(1) 13. 不定詞(2) 14. 不定詞(3) 15. 不定詞(4) 16. 動名詞(1) 17. 動名詞(2) リスニング問題に取り組む	6月は準動詞である不定詞と動名詞に取り組む。不定詞においては, 中学校で既習の用法の分類から始めていくが, 「完了不定詞」や「原形不定詞」, 「意味上の主語」など学ぶべき項目が多く, 重要である。動名詞は不定詞よりも苦手とする生徒は少ない印象であるが, 目的語に不定詞を取るか動名詞を取るかといったことや受動態あるいは完了形との絡みもあるため丁寧に取り組んでいく。	
	7		1学期の総復習	定期テスト②
	9	EARTHRISE English Grammar in 33 18. 分詞(1) 19. 分詞(2) 20. 分詞(3) 28. 仮定法(1) 29. 仮定法(2) リスニング問題に取り組む	9月は引き続き準動詞である分詞に取り組んでいく。基本的な形容詞用法の復習から始めていき, 補語として働く場合の分詞, 高校で初めて出てくる分詞構文, さらに完了形の分詞構文や意味上の主語を表す場合の分詞構文に取り組んでいく。 仮定法については日本語の文法概念にはない部分があり, 混乱を招くところなので問題演習にしっかり取り組みながら理解させたい。	練成テスト②

令和8年度 高校1年(特進) シラバス

□授業計画	月	単 元・項 目	内 容	備 考
	10	EARTHRISE English Grammar in 33 25. 比較(1) 26. 比較(2) 27. 比較(3) 7. 助動詞(1) 8. 助動詞(2) 9. 助動詞(3) リスニング問題に取り組む	10月は苦手とする生徒が多い「比較」に取り組む。 慣用表現が多く、混同しやすいため整理しながら取り組んでいきたい。また、「何と何を比較しているのか」ということが大事であるという観点についても触れていく。 助動詞については意味を整理し、助動詞+have+過去分詞の用法についても触れていくがあまり時間をかけずに進めていきたい。	定期テスト③ 実力テスト②
	11	EARTHRISE English Grammar in 33 10. 受動態(1) 11. 受動態(2) 30. 話法 31. 否定 リスニング問題に取り組む	11月は受動態に主に取り組んでいくが、時制と絡んで一緒に出てくる場合があることや、助動詞と一緒に出てくるパターンなど意外と落とし穴になる項目があるので注意して進めていく。 話法や否定については文法項目としては比較的細かいものになるが、考え方を含めて取り組んでいきたい。	
	12		2学期の総復習	定期テスト④
	1	EARTHRISE English Grammar in 33 32. さまざまな表現(1) 33. さまざまな表現(2) 品詞の学習 1. 接続詞 2. 前置詞 リスニング問題に取り組む	3学期は主にこれまでやってきたことの問題演習に取り組んでいきたい。特に1学期や2学期前半に取り組んできた文法事項については忘れていたこともあると思われるため、しっかり復習しながら取り組んでいく。 品詞の学習においては年度当初に基本的なことは伝えるが、それら以外の項目について触れていく。	錬成テスト③
	2	EARTHRISE English Grammar in 33 品詞の学習 3. 名詞・冠詞 4. 代名詞 5. 形容詞・副詞 ランダム問題プリント リスニング問題に取り組む	文法項目別に分かれていれば解けるという生徒が多いと思われるので少しずつではあるが早めにランダム形式の問題に取り組んでいく。問題を解くにあたってどこに「手がかり」があり、またその「手がかり」を隠すための「雑音」をいかに自分で排除して正解にたどり着くのかを丁寧に明示していく。	日大チャレンジ模試 定期テスト⑤
	3		3学期の総復習	